

# 広報TSB

第11号

平成29年度 前期

TOHOKU SEIKATSU BUNKA  
UNIVERSITY & JUNIOR COLLEGE

## 時代の要請に 応える

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部

学長 山田 宗慶



日頃より本学の教育・研究について御理解と御支援を賜わり感謝申し上げます。また皆様に年二回お届けしております本広報TSBは今年で第十一号を数えます。これまでの御愛読に感謝申し上げますとともに今後も何卒よろしく御指導・御鞭撻お願い申し上げます。

さて、今年も早いもので入学式から四ヶ月が経ち、新入生はキャンパスにすっかり馴染んで元氣いっぱい毎日です。また卒業生は大学・短大生活の締めくくりと就職活動に励んでいます。今年の求人もおかげさまで昨年同様順調です。本学ではこれまで同様就職支援に力を入れておりますが、保護者の皆様におかれましても、就職活動に頑張るお子様の御支援をお願い致します。

昨年度も求人、採用とも順調で、管理栄養士、栄養士、保育士などとして採用される傾向も例年通りでした。新しい傾向として目立ったのは公務員として採用される卒業生が増えたことです。後援会の御支援も頂いて始めた公務員試験対策講座が浸透してきたおかげではないかと喜んでいきます。

また、昨年は、一昨年末に文科省事業に採択されて導入した様々な新鋭機器を本学の教育・

研究の高度化に定着させることが出来ました。なかには東北の大学では本学唯一という素晴らしい機器もあり、学生達もその性能に眼を見張りながら誇りを持って熱心に学んでいます。

さらに昨年は第三者評価の多い年でした。私学事業団による実地調査、厚生局による栄養士養成施設の実地検査、文科省による学校法人運営の現地調査などで、各学科・専攻の専門教育、栄養士、教員、保育士、管理栄養士など様々な資格取得のための教育について調査が行われました。法人運営実地調査ではヒアリングを受けた学生達の受け答えが非常に良かったとのことお褒めに預かりました。それをきっかけに学生の建設的意見を集める仕組みを作りました。

さて今年も長年の念願であった新校舎の建築が始まっています。去る六月七日に地鎮祭が行われ、二号館と三号館の間で基礎工事が始まっています。三階建ての建物で、一階には食堂、売店、パウダールームなど学生用の厚生施設や展示ロビーなどが、二階以上には沢山の講義室が予定されています。来年二月に竣工予定で、在学生にも、来年度の新入生に喜んでいただけるものと確信しています。本学はこれまでも伝統を重んじながら、時代の要請に応えた高等教育を心がけてきましたが、新校舎建設をきっかけに現在の学科、専攻組織を改革することも考えています。

今年も管理栄養士養成施設の指導調査をはじめいくつかの第三者評価が予定されています。最近の傾向として高等教育の質保証、特に内部質保証が強調されるようになり、第三者評価はますます厳しくなる傾向にあります。また、少子化をはじめ本学にとっては厳しい状況が続きますが、これまで同様教職員一同協力して教育の質の向上を目指していきます。どうか皆さんの一層の御支援をお願い申し上げます。



## 大学家政学科

### 短信



家政学科には、この四月に健康栄養学専攻の新教員として曾根正彦教授（臨床医学担当）、深澤律子講師（調理学担当）、猪股沙良助手、中野目実里助手、服飾文化専攻に田中美咲副手の五名が加わりました。家政学科の活動に新風を吹き込み大いに活躍していただけると思います。



今年度これまでの家政学科の状況ですが、まず四月四日に入學式があり、新入生（服飾文化専攻十名、健康栄養学専攻三十四名）および編入学生（健康栄養学専攻三年次三名）を迎え入れました。オリエンテーションキャンプでは新入生たちはすっかり打ち解けた様子で、今後の学生生活の期待の膨らみと不安の解消に大いに貢献したものとされます。

五月九日には管理栄養士国家試験の合格発表がありました。この春の卒業生の合格率は七十%で、昨年よりは向上したものの、引き続き一層の受験生の支援体制の改善・強化が必要です。

六月には十日に体育祭が開催され、今年度は「教員チーム」が編成されたことから、家政学科からも多くの教員がバレーボール等の競技に参加し、（怪我を恐れつつ）学生たちと汗を流しました。また、十七日に本年度最初のオープンキャンパスが開催され、昨年度同様の参加者を迎える事ができました。家政学科は服飾文化専攻では体験実習、健康栄養学

専攻では学内体験ツアーを実施しました。

六、七月は健康栄養学専攻の隣地実習や教育実習といった学外実習が佳境を迎えており、学生たちは、実習先で日頃の学習の成果を存分に発揮し、充実感とともに本学に戻ってきました。これから定期試験、さらに四年生は課題研究、就職活動、受験勉強や残りの学外実習と多くの試練を迎えますが、必ずやこれらを乗り越えて、より一層の成長を遂げてくれるものと期待しております。

## 大学生生活美術学科

### 短信



今年四月から、新入生を迎え恒例のオリエンテーションキャンプ終了後東京研修旅行があり、西洋美術館の常設展や様々な展覧会などで研修を行いました。丁度日本画の非常勤講師及川聡子先生の個展が銀座ギャラリーせいほうで開催されていました。四年生は教育実習、就職活動本番を迎えています。自身の将来を見据えながら制作研究に、就職活動に努力しています。四月に開催された河北美術展では卒業生の天満秀人さんが最高

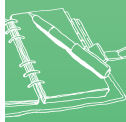
賞の河北賞、三年平泉晴留さんが彫刻部で入賞、洋画部で四年黒田萌さん、二年佐藤李菜さんが入選他卒業生などの活躍がありました。昨年の大学祭時に開催された学内コンクールで各美術館、画廊賞を受賞し選抜された学生による個展、グループ展も開催されました。ギャラリー



エチゴ賞受賞者作品展石井雅士さん、西脇榛奈さん、山本紗也さんたちギャラリーエチゴ、ターンアラウンド賞受賞者展伊藤陽太さん、我妻優香さんの二人展、中本誠司現代美術館賞受賞者展二人展千葉達人さん、伊藤雛乃さん。五月宮城県美術館県民ギャラリーにて日本画ゼミナール展、卒業生の漫画家相澤郁恵さんの作品も展示されました。版画ゼミナール展、六月中本誠司現代美術館にて「てんでんバラバラ展」、晩翠画廊特別企画蒼龍ワインラベルコンペⅧで二年吉田瀬七さんが晩翠画廊賞、版ゼミ屋さんと恋しちゃう？展ギャラリーエチゴ。教員の研究活動としては、四月モダンアート展大堀恵子講師、七月sarpにて三上秀夫教授の個展、同とつ替え、ひつ替え、すり替え展IV森敏美教授他教員、在学生、卒業生のコラボレーション展、東北現代工芸展に三浦輝子助教が出品しました。その他地域連携行事やグループ展など多彩な活動がありました。

## 短大生活文化学科

### 短信



生活文化学科は、平成二十九年三月十五日に食物栄養学専攻三十九名、子ども生活専攻六十一名の卒業生を送り出しました。食物栄養学専攻では平成二十六年から三年連続、子ども生活専攻は平成二十年度から九年間連続して就職率一〇〇%を達成しています。また、食物栄養学専攻から大学健康栄養学専攻に編入した二期生二名が、五月に管理栄養士国家試験に合格しました。

平成二十九年四月、食物栄養学専攻に三十名、子ども生活専攻に四十六名、計七十六名が入学し、新たな年度が始まりました。勉強だけでなく、ボランティアへの参加など、元

気に短大での生活を送っています。

今年度前期の主な行事を紹介いたします。

## 学科の行事

- 四月六日・七日 一年生オリエンテーションキャンプ、二年生研修旅行(鶴岡方面)
- 六月十日 体育祭

## 食物栄養学専攻

## 二年生の実習

- 六月～十月 校外実習  
(小学校、保育所、自衛隊、特別養護老人ホーム)
- 八月～九月 フードエンタテインメント演習  
八月二十五日株式会社江陽グランドホテル、その他食品を扱う事業所への見学なども予定しています。

栄養士としての実力アップ、就職試験・編入試験対策に向けて栄養士実力認定試験(十二月月)の受験を勧め、受験対策講座を行っています。

## 一年生の実習

- 八月二十五日～九月二日 施設見学  
(短大附属ますみ保育園)
- 八月七日・八日 施設見学  
(セントラルキッチン、仙台医療センター)



## 子ども生活専攻

## 二年生の実習

- 五月二日 マナー講座(浅野純子先生)
- 五月二十九日～六月九日、六月二十六日～七月七日 保育所実習Ⅰ、Ⅱ
- 七月二十四日～八月四日 施設実習
- 八月二十四日 実習報告会(保育所施設)

## 一年生の実習

- 五月二十九日 幼稚園・保育所見学実習  
(短大附属ますみ幼稚園・保育園)
- 六月二十三日 施設見学実習  
(丘の家子どもホーム)
- 九月二日～八日 幼稚園基礎実習Ⅰ  
(短大附属ますみ幼稚園)



宮城県教育委員会 委託

平成 29 年度みやぎ県民大学「大学開放講座」

# 生活と食環境



平成 29 年 9 月 2 日(土)、9 日(土) 計 2 日間／受講料無料

9月2日(土)  
13:00～14:00

スローフードの  
生産者を訪ねて

佐藤靖子 教授

9月2日(土)  
14:10～17:00

アスリートを支える  
スポーツ栄養学

川俣幸一 准教授

9月9日(土)  
13:00～14:00

食品の表示をよく見よう！  
～食品表示から分かる様々なこと～

鈴木裕行 教授

9月9日(土)  
14:10～15:10

わが国の健康・栄養の  
現状と課題

栗山孝雄 准教授

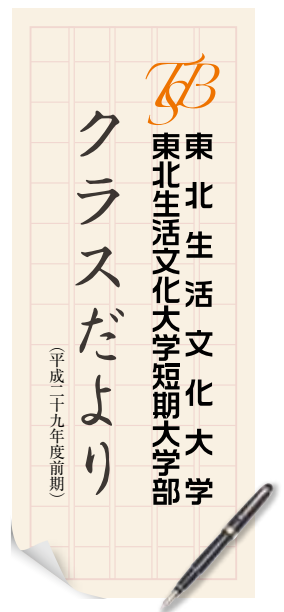
9月9日(土)  
15:20～16:30

嗜好品の及ぼす  
影響と環境について

福岡敦子 講師

- 【会場】 本学
- 【定員】 40名(定員になり次第、締め切らせていただきます)
- 【対象】 原則として計2日間、受講できる宮城県民の方
- 【申込締切】 平成29年8月22日(火)
- 【受講料】 無料
- 【申込方法】 ハガキ、FAX、Eメールのいずれかで①氏名(ふりがな)、②性別、③年齢、④住所、⑤電話番号を明記の上、お申し込みください。  
東北生活文化大学 企画課  
〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2  
TEL: 022-272-7513 FAX: 022-301-5602 Email: kikaku@mishima.ac.jp
- 【申込・問合せ】





### 大学服飾文化専攻 1年

入学当初は不安や緊張などが沢山あったことと思います。しかし、それから四ヶ月が経ち学生たちは、学校行事を通じて大学生活にも少しずつ慣れてきたように思います。現在では、学友会活動に積極的に参加する学生が増えてきており、大学生活を楽しんでいる姿が見受けられます。万、今年は授業を欠席する学生もいて、少々心配しております。そのため、後期の授業に備え、夏休みの間に体調を十分に整えることをして頂きたいと強く願っています。これから卒業まで、保護者の皆様と共に、学生への目配りを細やかにしていきたいと思っています。

### 大学服飾文化専攻 2年

一年次末の二月から三月、「ファッションビジネス実務実習」の履修者は三〜五日間のアパレル企業でのインターンシップに臨みました。店舗での仕事の実験を学び、四月の報告会ではその成果を報告いたしました。二年次になり、学習面では専門科目が中心となり、レポート課題や制作課題が多くなってきました。さらに、色彩検定等の資格試験に臨むなど、一年次に比べると、色々な事に取り組む機会が増えました。今後とも体調管理を万全にし、日々の積み重ねを大切にしながら様々な事に取り組んで欲しいと願っています。

### 大学服飾文化専攻 3年

この四月には、全員無事に三年生に進級することが出来ました。しかも、取得単位数については各自かなり多めであり、卒業に向けて単位数の観点から心配される学生は見あたりません。ただ

単位の質の面から見ますと、物足りない内容である学生のいることも確かで、この春に実施した担任との個別面談では、この点を各自に強く認識してもらいました。この個別面談では目の前に差し迫った次の進路に向けての具体的な話し合いも持たれました。なかなか具体的な目標設定までには至っていないのが現状ですが、今後の個人面談における継続の主要話題として十分な話し合いを持つ予定です。

さて、三年次後期からはいよいよ課題研究が始まります。大学生活の勉学の集大成ともいえる必修科目ですので、教員と学生が丸となって取り組む覚悟です。この課題研究をとおして、学生に困難に立ち向かうスピリットの醸成をしながら、具体的な次の進路に向けた指導を心掛けます。

### 大学服飾文化専攻 4年

近頃の服飾文化専攻四年生は、忙しい日々を送っており、少し前のように授業や学内の各所で会う機会が減りました。しかし、常に学生たちの状況把握に努めていますのでご安心ください。学生たちは、就職活動や教育実習、課題研究、卒業に向けての単位取得等々、各自の目標に邁進しております。また、これから始まる博物館実務実習に向けての準備をしている学生もいます。

四年前期から夏休みにかけては、この四年間のうち、外部の方との接触が最も多くなる時期です。いろいろと思悩むこともあるかもしれませんが、大きな力にはならないかもしれませんが、引き続き学生たちを支えていく所存です。

### 大学健康栄養学専攻 1年

入学式から四ヶ月が経ち、大学生活に慣れてきた頃かと思えます。クラスの状況として、六月の体育祭では、運営スタッフやそれぞれ思い思いのコスプレ姿で応援していました。競技では、みんなの活躍や応援によって総合三位に入賞することが出来ました。

六月のクラス懇談会では、自動車の運転免許は三年時の学外実習の前に取得する方が学業に影響が少ないことをお伝えしております。現在、前期の試験に向けて勉強を頑張る時期に入っております。試験の手応えはどうだったのか、保護者の皆様からお声掛け頂けると幸いです。

### 大学健康栄養学専攻 2年

去年の入学式がつい先日なのですが、おかげさまで全員が二年生となりました。二年生になると専門科目が多くなるため、四月になって勉強面とまどう学生も少なくないようでした。課外では、六月にクラスの男子が中心となって体育祭が運営され、バスケットボール男子競技では二年連続優勝を飾りました。二年生のこの時期は二年生の時のようなフレッシュな気持ちで薄れていく一方で、三・四年生のように就職や実習に関心が向く時期でもありません。個人面談を五月に行いましたが、管理栄養士合格という目的を忘れないように指導していきたいと思っています。

### 大学健康栄養学専攻 3年

一昨年の四月に、男女計四十名でスタートした我がクラスの学生たちも、もう三年生になりました。これまで男・女二名ずつが「身上的都合」で退学してしまいましたが、この四月には新たに三名の編入学生を迎えました。授業科目は、専門の講義・実験・実習のほか、来年度末に迫ってきた管理栄養士国家試験に向けた対策セミナーも新たな科目として加わりました。また六月からは給食管理の校外実習も始まり、当該学生はその準備や実習終了後の纏めなどに励んでおります。

今後共に、皆が仲良く、且つ切磋琢磨し合いながら共に成長していくて頂きたいと願いつつ、日々応援・支援等をして行きたいと考えております。

### 大学健康栄養学専攻 4年

大学生生活最後の年となりました。学生たちは、学業と就職活動で多忙な日々を送っています。学業では、五月から病院での臨床実習、六月から保健所での臨床実習が始まりました。併せて、家庭科教員免許の取得を目指す者は、五月に教育実習を行いました。また、四月から管理栄養士国家試験の模擬試験が毎月一回行われており、国家試験合格に向けて励んでいます。就職活動では、内定を獲得した学生も出ております。

さまざまな状況にある学生たちを、教員の立場で支援したいと思っています。ご家族の皆様も、学生たちを温かい目で見守ってあげてください。

## 大学生活美術学科 1年

四月に入學してから約四ヶ月。生活美術学科一年次二十六名は、クラスの雰囲気もだいたい落ち着きが見られ、少しずつ二人一人の個性が出て来始めたように思えます。

入学式後すぐのオリエンテーションキャンプでは友人達と打ち解けるのにまだまだ時間がかかる学生もありました。五月には個人やグループで美術館・ギャラリー巡りの計画を立て研修に臨んだ東京研修旅行や、六月の体育祭では、生活美術学科ならではのとも言える仮装・コスプレによる競技参加もあり、見応えあるものでした。

これから始まる後期の授業に向け、各々の目標をしっかりと立て、一年生でしか体験できない大切な時間を送ってもらいたいと思います。

## 大学生活美術学科 2年

二年生に進級し、専門性の高い授業が展開されるようになりました。より高度な技術に触れ、個人制作・ゼミ活動においても積極的に制作に取り組む姿がみられます。

夏期休業中には美術鑑賞研修旅行の実施、インターンシップも始まり、社会人としてのスキルを更に向上させる時期に入りました。また、PBL授業の一環として大衡村教育委員会包括連携事業を始動させ、プロジェクトマップング、インスタレーション展示計画等、学年を越えた取り組みを行っています。後期も大学祭をはじめ、様々な活動に積極的に参加してほしいと思います。

## 大学生活美術学科 3年

三年次前期に入り、専門科目と技法研究Ⅰaを履修し、卒業制作や進路を見据える時期になりました。春先からの学生たちの活躍として、平泉晴留さんが第八十回河北美術展宮城県芸術協会賞受賞、石井雅士さん・西脇榛奈さん・山本沙也さん「森々展」伊藤陽太さん・我妻優香さん「伊藤と我妻展」三年次有志九名「てんでんバラ展」佐藤雛乃さん・千葉達仁さん「二人展」などが開催されました。大衡村ふるさと美術館との連携プロジェクトでは、伊藤陽太さん・熊谷翼さん・鈴木美穂さん・長岡沙彩さんが中心となり半年に渡り研究と制作を行っています。成果は八月十九日から九月六日まで大衡村ふるさと美術館で発表します。ぜひお越し下さい。

## 大学生活美術学科 4年

今年度も間もなく半期を終え夏季休業を迎える季節となりました。卒業学年を迎え就活に動じむ学生たちですが、早々と内定を取る者も出てきました。

就活や教育実習等と思うように卒業制作を進められない学生もいますが、ゼミ展やグループ展等で学生時代最後の創作活動を楽しむ者も多く、日本画ゼミ展に相田純平さん、中村望乃さん、三浦俊成さん、版ゼミTシャツ展に黒田萌さん、鈴木美緒さんが、宮城水彩展には、大学推薦枠で中村望乃さん、石川愛さんが選出され、それぞれ好評を博しました。特に中村望乃さんは三年次終わりに「第六回いわてマンガ大賞」を受賞し「コミックいわて、ログ」に掲載される活躍ぶりです。

## 短大食物栄養学専攻 1年

栄養士免許取得を目指す第五期生として、三十人が入学しました。入学式翌日からガイダンス、そして山形での二泊二日のオリエンテーションキャンプから始まった短大生活も既に四ヶ月が過ぎました。最初は緊張と不安の面持ちであった学生たちですが、五月の面談では「忙しけれど充実している」「学生生活が楽しい」「講義が面白い」といった声が数多く聞かれました。六月の体育祭では、女子のバレーボール優勝をはじめ、一年生の躍動する姿が大いに会場を盛り上げ、クラスの結束がさらに強まったように思います。授業のみならず、ボランティア活動にも積極的に参加する学生が多く、二年後の成長を期待しながら見守っています。

## 短大食物栄養学専攻 2年

食物栄養学専攻二年生は、新年度から四ヶ月経過したところですが、通常の授業に加え、就職活動、校外実習など二年生の頃にはなかったプレッシャーを抱えながらも毎日意欲的に過ごしています。就職活動においては、自分の将来を見据えて早い段階から積極的に会社説明会に参加している姿を目にしました。六月には仙台市立の小学校を皮切りに校外実習が始まり、実習生として緊張感を持ちながら準備や課題に取り組んでいました。

十月の大学祭では、食物栄養学専攻で有志の学生を中心に

店を計画しており、日頃の学業成果だけでなくチームワーク力も求められるため、その取り組みにも期待しています。

## 短大子ども生活専攻 1年

この四月、子ども生活専攻第十三期生は四十六名でスタート致しました。入学式直後に行われたオリエンテーションキャンプではクラス内がまだどこかぎこちなかったようでしたが、六月に行われた体育祭では、全力を尽くす選手に生懸命仲間を応援する学生の姿を見ることができ、頼もしく感じたとともにクラスのまとまりが一層強まったのを感じました。また、附属ますみ幼稚園・保育園や児童福祉施設などの見学実習では、保育者になりたいという思いを改めて深くしたようでした。

今は十月の大学祭で行われる「ファンタジーランド」に向けて、クラス全員で準備をすすめております。皆で協力して話し合い、よりよいものを創り出そうとする姿は、未来の保育者としての期待がふくらむばかりです。

短大の二年間はあつという間に流れていきます。その中で、同じ志をもつ仲間同士が、深く学びあつて欲しいと願っております。

## 短大子ども生活専攻 2年

いよいよ、二年生になって本実習が始まりました。五月下旬から保育所実習Ⅰを経験し、六月下旬には保育所実習Ⅱを終えてきました。二回の実習を経た「保育者の卵」たちの顔は、どこかしつかりした印象になりました。今は、七月下旬から始まる児童福祉施設等で行われる施設実習に向けて着々と準備を進めているところです。施設実習の後も十月上旬から一ヶ月に亘る幼稚園教育実習が待っています。実習を通して学び得たものは、生涯の宝物となるはずです。机上では学べないことを体験的に学び、保育者として、又、人間として大きく成長してくれることを心より願っています。





大学 家政学科 教授

## 曾根 正彦

専門分野: 内科、リハビリテーション

主な担当科目: 解剖生理学、病理学、臨床医学概論、課題研究



私は赴任前に勤務医でしたので、研究歴と臨床歴を併せて紹介させていただきます。

30年前は臨床を学びながら自分の研究を進めて博士号を取得するのが慣例で、私は東北大学医学部第二内科(現在の腎・高血圧・内分泌科)に入局しました。教授は高血圧や内分泌の分野で著名な吉永先生で、様々な症状を総合的に考えて患者を診るよう総合内科的な臨床指導をしていただきました。

初期研修の後、第二内科の神経内分泌グループで毛利先生(元名取市医師会長)から研究の指導を受けました。この研究室からは3名の東北大学教授を輩出しており、ランセット(医学四大誌の一つ)にも論文を採用されています。私も在籍中、(英文和文総計)110の論文と130の学会演題を発表させていただきました。七夕前夜祭の花火を実験の合間に眺めたり、どんと祭の鐘の音を聞きながら遅くまで研究していた頃を懐かしく思います。

私の研究テーマはCRH・MCH・BNP・エンドセリン等、食欲調節因子や心血管作動性のpeptideでした。博士号は中枢神経や末梢で血圧や食欲を調節するNeuropeptide Y (NPY)という神経伝達物質の研究でした。NPYは内分泌性高血圧症の褐色細胞腫や小児の神経芽細胞腫で高値なので診断に有用です。私の研究で少量の血液でも測定可能となり、小児外科との研究が県立こども病院の林前院長との共著になりました。これらNPYの研究をNew York Academy of Sciencesで発表し、私の海外デビューとなりました。

その後、英国ロンドン大学の糖尿病専門の研究室に留学して、脳腸管peptide受容体の研究をして論文を発表して来ました。その後の研究については、直近10年分が「本学のHP」に掲載してありますのでご参照下さい。

大学 家政学科 講師

## 深澤 律子

専門分野: 調理学、栄養学、食品衛生学、スポーツ栄養学

主な担当科目: 基礎調理学実習、応用調理学実習、食文化論



大学卒業後、管理栄養士の有志と糖尿病の勉強会を行っていました。アメリカのジョスリン糖尿病センターの糖尿病食のレシピ本を翻訳し、実際に調理し、試食するという勉強会でした。アメリカの糖尿病食を食べてみて、日本人には日本人のためのレシピが必要なのではと考えました。

それ以後「和食による糖尿病の予防」が私の研究のテーマ、ライフワークになりました。一方、娘が通っていた幼稚園で小麦アレルギーに対応した給食の献立とおやつレシピ開発を依頼され、食物アレルギーについて学び、郷土料理などを取り入れた和食中心の献立を考えました。おやつも小麦アレルギーに対応し、米粉・片栗粉・寒天等を使ってレシピを作りました。

米粉は小麦粉に比べて、保水率が20%ほど高く、お菓子やパンに米粉を使うと、しっとりとして、のどごしがよく、乾燥しにくく、食味が良いことがわかりました。特に、宮城県産の米粉、団子の粉を使用したクレープは、小麦粉で作るよりもおいしいため、当時教えに行っていた短大や専門学校の実習に取り入れられました。その後、学び直しのために改めて大学院に進学し、「慢性疾患通院患者の中食利用に関する研究」をテーマに研究を行いました。

2ヶ月かけて100名以上の患者さんに直接お話を伺って調査ができたことは貴重な経験でした。「この病院で食事指導を受けて血糖値が安定しました。先生から、もう薬を使わなくても良いですよと言われ、とても幸せです」という言葉を聞き、管理栄養士の仕事の重要性を再確認しました。

今後も、和食を中心にした健康で美味しい食事作り、和食を中心にした健康的な食環境作りの研究を進めていきたいと思っています。

# 私の研究

短大 生活文化学科 准教授

## 横山 美喜子

専門分野: 図画工作・美術教育、小学校教育全般

主な担当科目: 造形I、造形II、児童文化、保育内容(表現I)、  
保育内容(表現II)



「小1プロブレム」という言葉が提起されたのは20年ほど前でしょうか。これは幼稚園・保育所と小学校との学びの形があまりに違うために、入学したばかりの子どもたちが小学校に適応できず、集団行動が取れなかったり、教師の話聞かない・指示に従わない・勝手に歩き回ったりするといった行動が見られ、時にはその混乱状態が学年末まで続く状況を指しています。この問題の解消のために、小学校と幼稚園・保育所ではスタートカリキュラムやアプローチカリキュラムといったスムーズな接続のための特別な教育課程を編成してきました。また、私が小学校に勤務していた時は、クラスの中に保護者や地域の方々に入って、教師をサポートしてもらうといった取組を行ったり、幼稚園・保育所の先生方との引継ぎを特に緊密に行ったりしてきました。そして今年3月31日、新しい幼稚園教育要領・保育所保育指針・小学校学習指導要領・中学校学習指導要領が告示され、学校間の接続が大きく取り上げられることとなりました。その発達段階における学びの形は違っていますが、幼稚園教育や小学校教育、そして中学校教育において育みたい資質や能力は、やがて社会の一員となり社会を切り拓いていく子供たちにとって一本の共通する柱となるべきものです。この考え方がしっかりと打ち出され、「幼児教育で基礎が培われ、小学校以上の教科等の指導で一層成長する」ものであると明記されたのです。

私はこれから幼児教育の現場に向かう学生たちに、幼児教育の意義や「どんな大人になってほしいのか」という大きな目的を見据えて保育にあたってほしいと願っています。そして、そのために小学校教育とどのような連携を図るべきかを考えてほしいと思います。特に私が担当している保育の5領域の中の「表現」のみならず、他の先生方とも連携を図りながら指導にあたり、素晴らしい保育者を育てていきたいと思っています。

短大 生活文化学科 講師

## 安部 日珠沙

専門分野: 教育学、道德教育、哲学・思想

主な担当科目: 教育原理、教育・保育方法論、教育課程論



院生時、恩師に薦められたシェリング『人間の自由の本質』に衝撃を受けて、彼の哲学にのめり込んで行ったことが、「私の研究」の始まりでした。以来10年、シェリングをはじめとする西洋思想の文獻学的な研究に取り組み、とくに「人間はなぜ善と悪をなすのか」「人間にとって最高のものは何か」などの命題から、人間のよりよい在り方や生き方などを形而上学的に考察してきました。

哲学は、人間の原理を深く見つめ直していく学問である点において、人間形成論でもあります。人格が形成されてくる過程で、人間の中に善悪の概念が生まれること、善と悪との能力としての自由を行使する存在として形作られていくこと、善悪の相克に苛まれる精神を癒しえる概念が存在することを、諸哲学の研究を通して確認してきました。とりわけ、シェリング哲学の検証を通じて培われた、物事の「何」ではなく、物事の「あること」を問うという学術的な姿勢は、現在に至るまで、私の研究活動の基盤となっています。

また、シェリングは哲学と道德の本質を同じ「高昇」として捉えましたが、そこから哲学と道德教育との関係に関心を持ち、さらには、子どもの人格形成や、人間の在り方や生き方に大きな影響を与える教育に興味を抱くようになりました。最近では、心身の発達とともに子どもの中に芽生えてくる、善悪の問題への深い見識を持つことが、子どものよりよい育成の手立てになるのではないかと考え、哲学と教育とのつながりに注目しています。

今後は、シェリングの思想に影響を受けたフレーベルの教育思想と、そのフレーベルの思想に影響を受けた倉橋樵三の教育思想を分析しながら、近代教育学と西洋哲学との接点を探っていきたいと思っています。

## 大学・短大新棟建設工事中

本学では、教育環境をより一層充実させるため、新棟建設が着々と進行中です

新棟は、学生食堂売店などの厚生施設を大幅にリニューアル。また、新たに「L2」環境の整った学生ホールや作品展示スペース、さらに階段教室（講義室）などの機能を持った施設となり、来年二月には完成予定です。



▲完成イメージ



▲学生食堂



▲エントランス



▲階段教室（講義室）

## スポーツ栄養学研究室の活動

東北の管理栄養士系の大学としては珍しく本学にはスポーツ栄養学研究室が用意されています。本年度は五名の卒論生が在籍しています。今年で三年目です。「人題、地域に飛び出して学ぶ」をモットーに頑張つて活動をしています。教員として伝えたいのは礼儀・礼節・気持ちであり、サポートした選手が勝つと嬉しい気持ちと、サポートした患者さんが退院して嬉しい気持ちは同じなのだと言指導をしています。箱庭を飛び出し学生はたくさんいることを選手・地域から教わります。

そのような中で、今年一月にはスポーツ栄養レシピコンテストで全国準優勝を飾るような学生も出てきました。また今年にはサポートチームから全日本選手権に出場する選手もみられました。加えて研究室で行っている高齢者筋トレと栄養の研究も注目されてきた中で、本年度五月より地域活性化プロジェクトと称したスポーツ栄養のボランティアサイトを立ち上げました。これから東京オリンピックを迎える中で、東北の選手にスポーツ栄養を勉強してもらい、且つ選手を東北の食材で強くしたいとする願いが込められています。既にいくつかの依頼がきており、息の長い取り組みにしたいと思っています。



## 事務職員紹介



教務課 松山 恒博

教務課に所属しております松山です。私の主な業務は教員免許申請と成績に関する事務処理、各種窓口業務などです。教務の他に弓道クラブのコーチとして休配と技術指導を教えております。窓口では履修の相談や証明書の取得でわかりやすく説明するように心がけております。

## 人事異動

### 退職の教職員

大学教授 片山 正文  
大学教授 加藤 浩文  
大学教授 川村 奎子  
大学助手 遠藤 彩紗  
大学助手 加藤 ゆき  
大学助手 中川 美希  
大学副手 山田 芳恵  
短大教授 朝倉 清  
短大准教授 阿部 陽子  
短大助手 岡部 美喜子

### 新任の教職員

大学教授 曾根 正彦  
大学講師 深澤 律子  
大学助手 猪股 沙良  
大学助手 佐藤 あゆ美  
大学助手 加藤 祐史  
大学副手 中野目 実里  
大学副手 田中美咲  
短大准教授 横山 美喜子  
短大講師 安部 日珠沙  
短大助手 佐藤 麻菜実



# PHOTO ALBUM

(平成29年度前期)



## 入学式

4月4日(火)、平成29年度大学・短大入学式を挙行了いたしました。当日は天気も良く、風も穏やかで絶好の入学式日和となりました。



## 竹とんぼを作ろう!

4月15日(土)、長命館公園において開催された「第13回さくら祭り」に、生活美術学科学生有志が「牛乳パックとストローを使って竹とんぼを作ろう!」のワークショップで参加しました。



## 「ハ木山つどいの家」壁面設置

障害者福祉事業所「ハ木山つどいの家」壁面に、モザイク画を設置しました。このモザイク画は、絵本作家五味太郎さんの原案をもとに、生活美術学科の森敏美教授はじめ、在学生、卒業生が制作しました。



## GAMA ROCK FLAG

9月23日(祝・土)に、「GAMA ROCK」が塩竈市みなと公園において開催されますが、今年も来場者を誘う「GAMA ROCK FLAG」製作に協力。服飾文化専攻の学生たちが、「アパレル生産実習」において、ミシンの機構や縫製方法を学習しながら、製作に取り組みました。



## 新校舎新築工事地鎮祭

6月7日(水)、大学新校舎新築工事の地鎮祭が執り行われました。浅尾理事長をはじめ、学園関係者が参列し、工事の安全を祈願いたしました。



## 体育祭

6月10日(土)、体育祭が開催されました。今年もバレーボール、バスケットボール、大長縄、ピンポン玉リレーに、各クラス一丸となって競技に臨みました。競技に参加した皆さん、実行委員会の皆さん、お疲れ様でした。



## オープンキャンパス

6月17日(土)、今年度第1回目のオープンキャンパスを開催しました。全体ガイダンスにおいて、大学・短大概要と入試の説明後、各学科・専攻に分かれ、それぞれの特色を生かした企画を実施しました。



## アイリンブループロジェクト

昨年から生文大高校生・大学生が一生涯懸命育てた「アイリンブループロジェクト」の奇跡の花あいうちゃんが見事に咲きました。詳細は→<http://airinblue-project.jp/>



## さかな丸ごと食育

7月1日(土)、今年も虹の丘児童センターから子どもたち32名をお招きし、「さかな丸ごと食育」を実施。今回は、エビを丸ごと1匹使って調理し、料理の楽しさや魚料理のおいしさを味わってもらいました。

## 就職支援センターから

◎就職・採用活動スケジュールは… 広報活動開始:3月1日以降、採用選考活動開始:6月1日以降、正式な内定日:10月1日以降!

梅雨明け前、暑い毎日が続くなかで、学生は着慣れないスーツ姿で就職へのチャレンジを始めています。すでに内々定を受けたとの報告も受けています。その数は、昨年度より増加傾向にあります。今年度、国内経済が好調で企業の求人意欲も高く、学生にとってはよい求職状況にあります。

大学の講義・実習のなかでの就職活動、6・7月からは公務員試験が実施されるなど、本当に多忙な状況が続きますが、気概を持って企業等にどんどんチャレンジして内定通知が受け取れることを期待しています。

さて、就職支援センターでは、求人情報の提供、選択科目「キャリアサポートI・II」による就職支援、公務員試験対策講座の開催、就職個別相談、東京就活バスツアー等を行うなどして就職支援を行っております。

私にはまだ早いと考えている学生も、とにかく一度は早い段階に来室して就職関係情報に触れ、インターンシップに参加するなど、企業・業種・職種について研究し、自分の適性を把握して早期に就職活動に備える準備をしておくことが、就職活動のスタートには大切です。

**東北生活文化大学**  
**東北生活文化大学短期大学部**

このロゴマークは、大学の理念・目標を表現し、広く学内外にアピールするために、大学創立50周年を契機に作成し、平成22年4月1日に制定されました。東北生活文化大学・同短期大学部の英語表記の頭文字「TSB」をモチーフにし、人を結び繋ぐことがイメージされています。「広報TSB」も、保護者と大学とを結び懸け橋となることを願って命名しました。

広報TSB 第11号

[発行] 平成29年(2017年) 8月1日

東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部

〒981-8585 仙台市泉区虹の丘1丁目18番地の2

TEL 022-272-7520 FAX 022-301-5602

ホームページ <http://www.mishima.ac.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/mishima.tsb>

Twitter [https://twitter.com/mishima\\_tsb](https://twitter.com/mishima_tsb)